

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
 2. 国土交通省建設専門紙記者会
 3. 国土交通省交通運輸記者会
 4. 横須賀市政記者クラブ
- 令和5年11月22日同時配布

国総研資料第1257号

『海藻種・環境条件を考慮した着生・成長を促す生育基盤の工夫の重要性に関する考察』を刊行します

港湾におけるブルーカーボン施策を推進するにあたり、港湾における海藻の現存量の増大が重要となります。しかし、港内の環境は必ずしも海藻の生育に良好な場所とはいえず、光量不足や細粒分の堆積、食害等による様々な着生・成長の阻害要因が課題となっています。これらの課題に対して、細粒分が堆積し難い被覆ブロック等の工夫、食害を防ぐブロック形状等の工夫、海藻の着底を促すブロック形状や表面形状等の工夫、海藻の成長を促す構造物の材質等の工夫など様々な技術開発が検討されています。本資料では、111事例の生育基盤の工夫の効果について統合的に整理しました。その結果、海藻種によって増殖効果が期待できる生育基盤の工夫は異なること、また、生育基盤の工夫が効果を発揮する環境指標の適切な範囲は海藻種および生育基盤の工夫によって異なることが、データに基づいて示されました。他の水域で成功した工夫をただ単に真似ただけでは成功しない可能性が高く、海藻種や環境条件を適切に考慮して生育基盤の工夫を選択することが重要であることが示唆されました。

<目次>

- 第1章 はじめに
- 第2章 海藻の着生・成長を促す生育基盤の工夫に関するデータベース作成
- 第3章 生育基盤の工夫の効果
- 第4章 考察
- 第5章 おわりに

本資料は、国総研ホームページで公開しています。

ダウンロード先URL：<https://www.ysk.nilim.go.jp/kenkyuseika/pdf/ks1257.pdf>

(問い合わせ先)

国土技術政策総合研究所 港湾・沿岸海洋研究部 海洋環境・危機管理研究室
室長 岡田 知也 (内線：3210)
TEL：046-844-5019 E-mail：ysk.nil-46pr@gxb.mlit.go.jp